

官衙はI期からII期へ^{へんせん}変遷することが確認されているよ。

広瀬川

II期官衙

I期官衙

郡山廃寺

郡山中学校

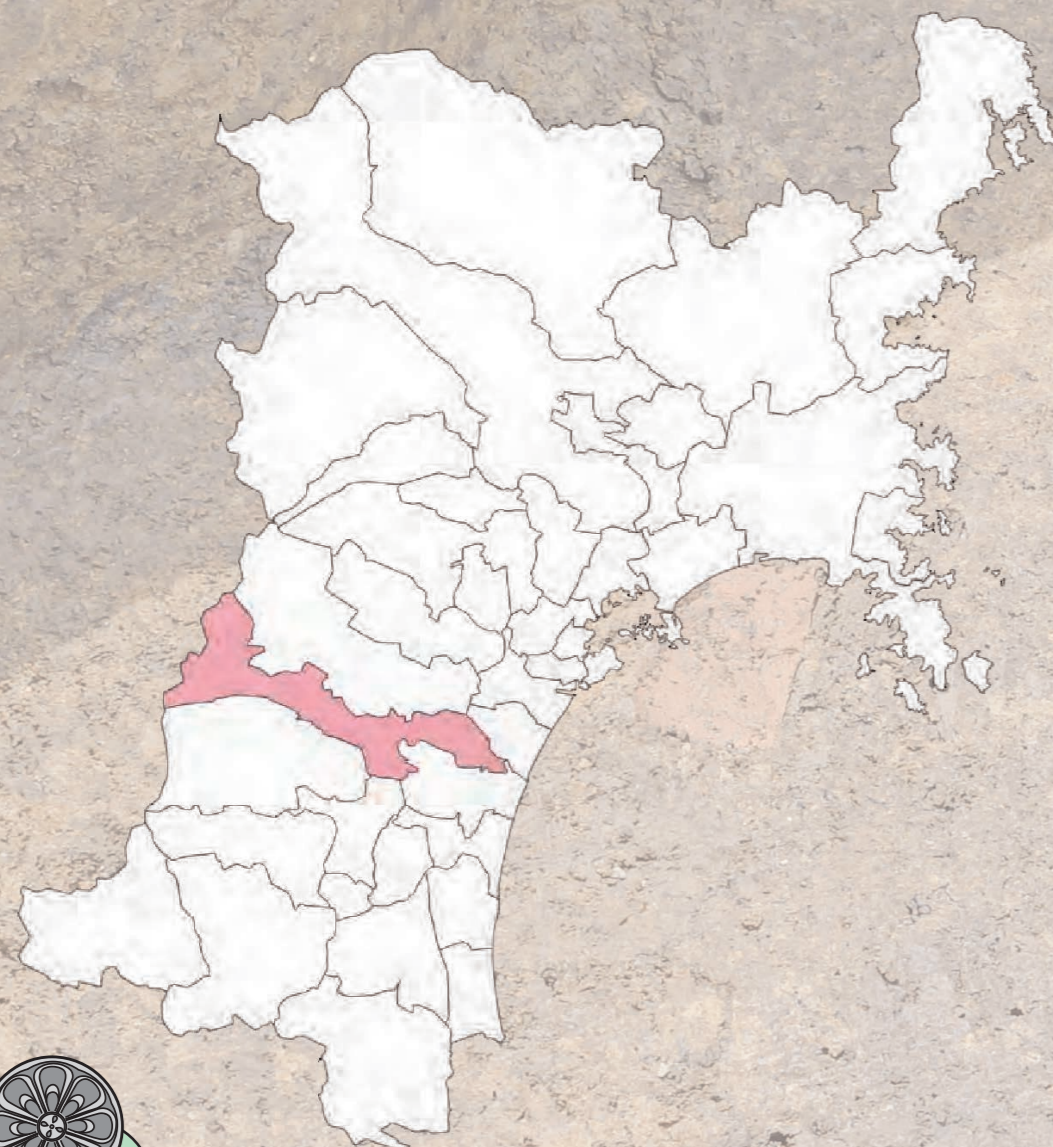
国道4号線

遺跡遠景（南から、2001年撮影）

東西に並んだ2棟の長大な建物

③国指定史跡 ^{こおりやまかんが} 仙台郡山官衙遺跡群

郡山官衙遺跡・郡山廃寺跡
(仙台市太白区郡山)



仙台市南部の名取川と広瀬川にはさまれた^{しぜんてい}自然堤防^{ぼう}上に立地する、飛鳥時代から奈良時代の官衙^{かんが}（役所）・寺院跡です。

仙台市教育委員会による発掘調査が1979年から継続して実施されています。

調査の結果、東西約18mの長大な掘立柱建物跡^{むつ}が2棟並んでいることを確認し、多賀城以前の陸奥国府^{こくふ}*とみられるII期官衙^{ちゆうすう}中枢部内の建物配置の解明が進みました。

【動画の視聴方法】

QRコードを読み取るか、れんげもんちゃんをクリックすると視聴できます。



旧石器

縄文

弥生

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

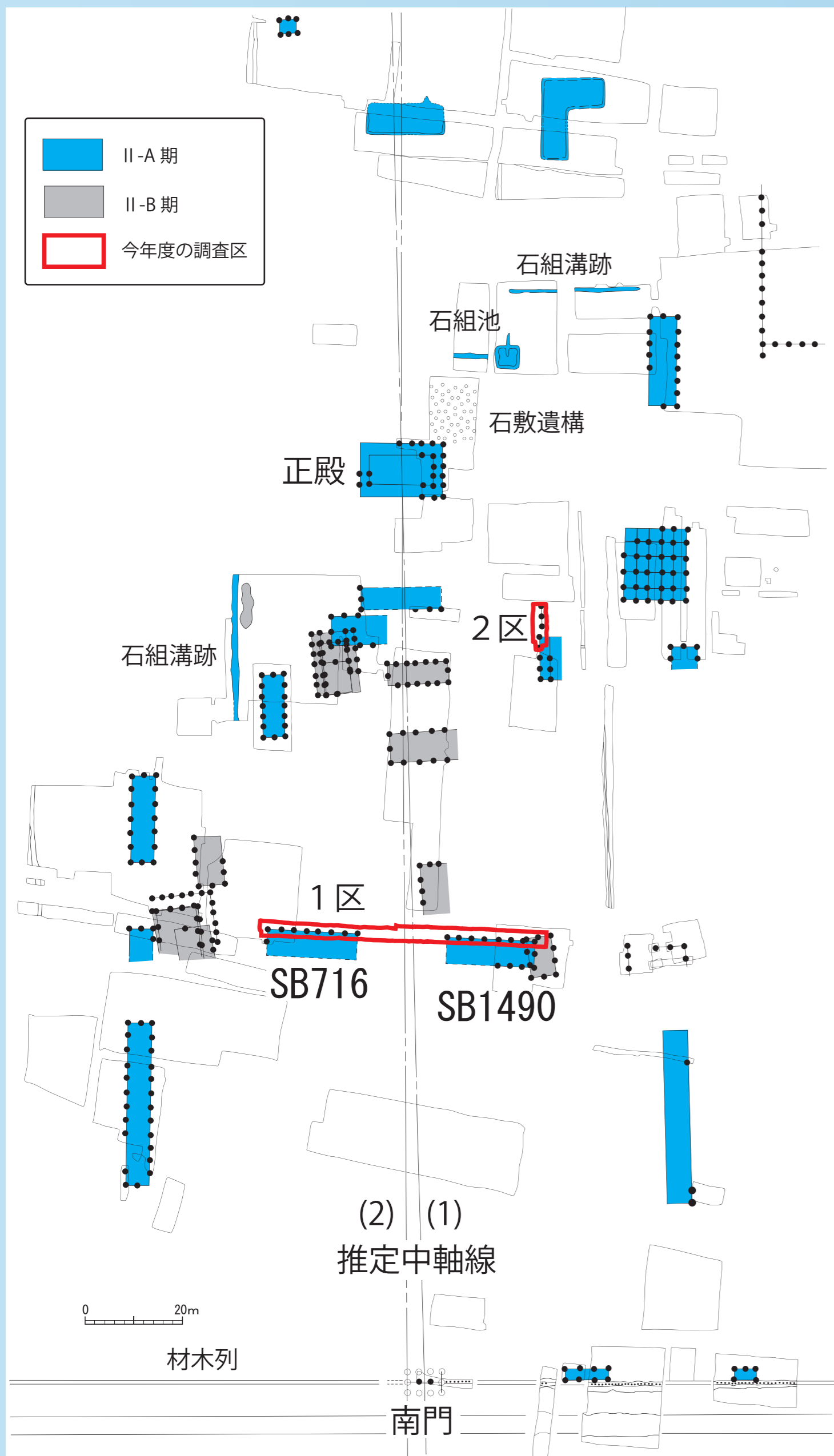
安土桃山

江戸

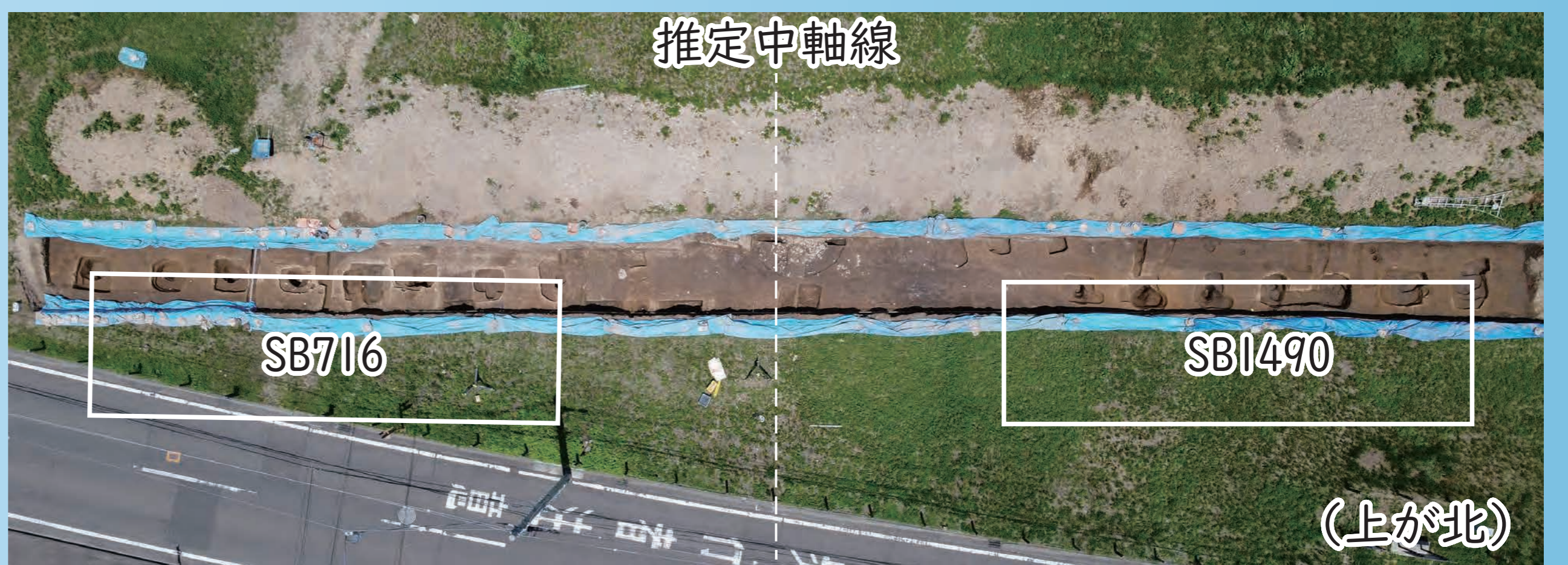
明治



調査区全景
(東から)



かんがちゅうすう
II期官衙中枢部全体図



SB716・1490 掘立柱建物跡はそれぞれ東西約 18m で、南北は 1985・1994 年の調査によって約 5.4m と分かっています。中枢部の中軸線をはさんで左右対称の位置に並んで建てられています。



ほったてばいらたものあと
掘立柱建物跡の柱穴はいずれも一辺 70～110cm あります。

協力：仙台市教育委員会